

知事と政策連携団体代表者の意見交換 議事概要

1 団体名

(公財) 東京都歴史文化財団

2 実施日時

令和元年7月17日(水) 13時16分～13時30分

3 出席者

- ・団体側出席者：日枝理事長、坂巻副理事長、
古屋文化振興部長(生活文化局)
- ・都側出席者：小池知事、遠藤総務局長、武市財務局長、
小林行政改革推進部長

4 議事概要

○小池知事

東京には宝物がいっぱいあり、PRの必要性を痛感している。ユニークベニューとしての博物館、美術館、劇場等々、ぜひ生活文化局や産業労働局とうまく連携してほしい。都としてもいろいろなところへ声掛けするので、受け入れ体制を整えてもらいたい。

○坂巻副理事長

今年になり、東京都現代美術館で新車の発表会を既に2件やらせていただいている。今後も、間口を広げながらやっていきたいと思っている。

○日枝理事長

大々的なファッションショーを東京都現代美術館でやる予定である。

○小池知事

ぜひ、そういう例をどんどん作り、皆さまに知っていただいで欲しい。
入場料はQRコード対応しているのか。

○坂巻副理事長

今年から、実証実験をやるべく準備しているところである。

○小池知事

都も5GやSociety 5.0、データ化、キャッシュレス化を進めているので、連携を取りながら進めて欲しい。

海外からの来館者は、どこから情報をとっているのか。それを情報発信の参考にしてみたいか。

○坂巻副理事長

民間企業のノウハウをある程度使えないかということを考えている。

○日枝理事長

海外での好事例は風呂敷である。これをバツと広げると、驚いた顔になる人もいる。風呂敷で都庁を包むなど、いろいろなことをすると世界的に話題になる。

○小池知事

これからもTokyo Tokyo FESTIVALとして、世界にパッケージで発信していきたい。ロンドン大会でも文化がレガシーにつながっている。これからもよろしくお願したい。